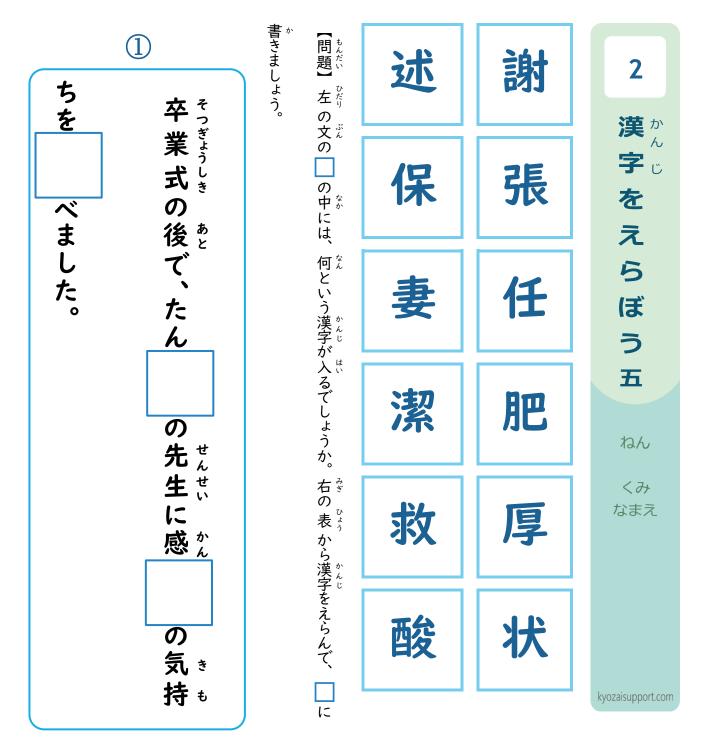
【問題】 能 餇 1 左の文の一の中には、 **漢**かん 字をえら 快 歴 何という漢字が入るでしょうか。 情 居 ぼ う 五 耕 序 ねん 右の表から漢字をえらんで、 みぎ ひょう かんじ くみ 復 喜 なまえ 程 略 に kyozaisupport.com

1 ても ぼくが びます。愛 っている犬は、 をもって育てていきます。 散歩に連れて行くと、と

書きましょう。

2 るつもりです。可か 明 あし 日は、 た 史のテストがあるので、 な 限 ゕ ぎ り勉強を続けます。 習をす



2

すぐに

健室に行きなさい。けがのゖんしつ

態によ

っては、

きゅうしゃ

急 車をよびましょう。

書きましょう。 1 この 品を点 理を行い おこな います。

2 実じっ に 事じ 行なな わなければなりません。 を防ぐためにも、 実験の 備 v は、

書きましょう。 【問題】 1 版 4 春に はる 左の文の一の中には、 **漢**かん の 校さ 字をえら 花を見ながらお 術 判 のそばに 何という漢字が入るでしょうか。 際 桜 ぼ う 五 豊 報 当を食べています。 の木があります。毎年 ねん 右の表から漢字をえらんで、 くみ 衛 雑 なまえ 弁 財 に kyozaisupport.com

2 問題が複いない 告してください。 になる前に自分で 断だん して

【問題】 許 5 左の文の一の中には、 **漢**かん 字をえら 護 銅 何という漢字が入るでしょうか。 殺 現 ぼ う 五 税 属 ねん 右の表から漢字をえらんで、 くみ 常 なまえ 仮 貸 逆 に kyozaisupport.com

書きましょう。 1 番 ばん 目 め に電気をよく通 は 金 ^きん の 中で なか します。 温では銀に次いで二

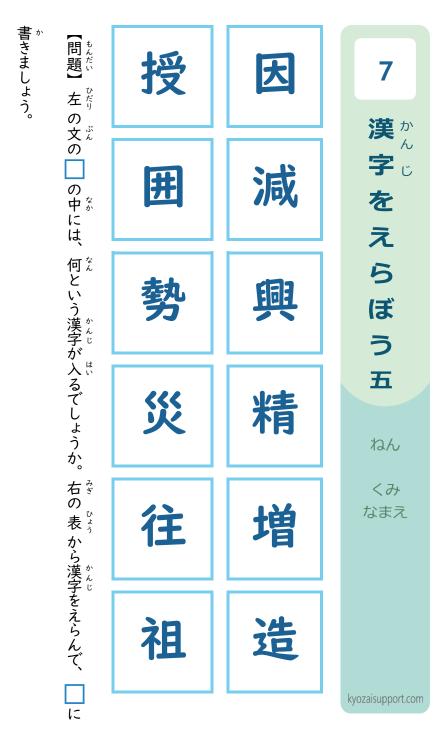
2 が 兄 に 何度もあやまったので た本は、 在も返ってきていませんざい かえ すことにしました。

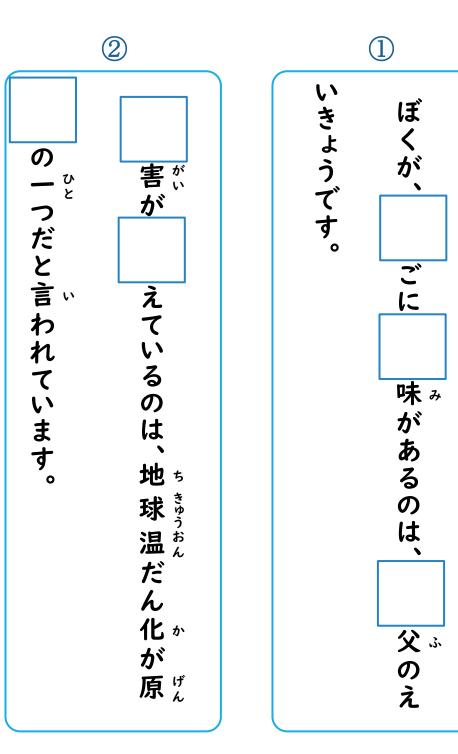


1 た 内 ない どちらが正せい だったことを思い出 か いましたが、きのう勉強 しました。 べんきょう

書きましょう。

2 父の仕事で 業を目 は、 め 指 建力 ています。 技ぎ です。ぼくも、 おな 同じ





ねん

kyozaisupport.com

政

険

絶

慣

編

責

損

性

燃

則

応

採

【問題】 左の文の一の中には、 何という漢字が入るでしょうか。 右の表から漢字をえらんで、

に

書きましょう。

休みの

間がだ

き

1

正 ただ い生 せいかつしゅう

活

習

な場所に行

かないことや規

を守ることを話 しました。

かれは、

任感の強

(,

格なので、

対 に

最後まであきらめず、 ちょう戦をすると思います。

2

書きましょう。 【問題】 1 粉 輸 9 左の文の一の中には、 貿ぼう **漢**かん 字をえら 質 均 まさつは、 何という漢字が入るでしょうか。 停 ぼ 輸 ゅ う 出と しゅつ 五 留 領 ねん にゅう 入 の 不 右の表から漢字をえらんで、 くみ 導 易 なまえ 鉱 こうに 亦 に kyozaisupport.com

2 らは、 バスは、 案内表 次の停っぎ 板 の 通 とお 所 で、 りに進んでください。 まります。そこか

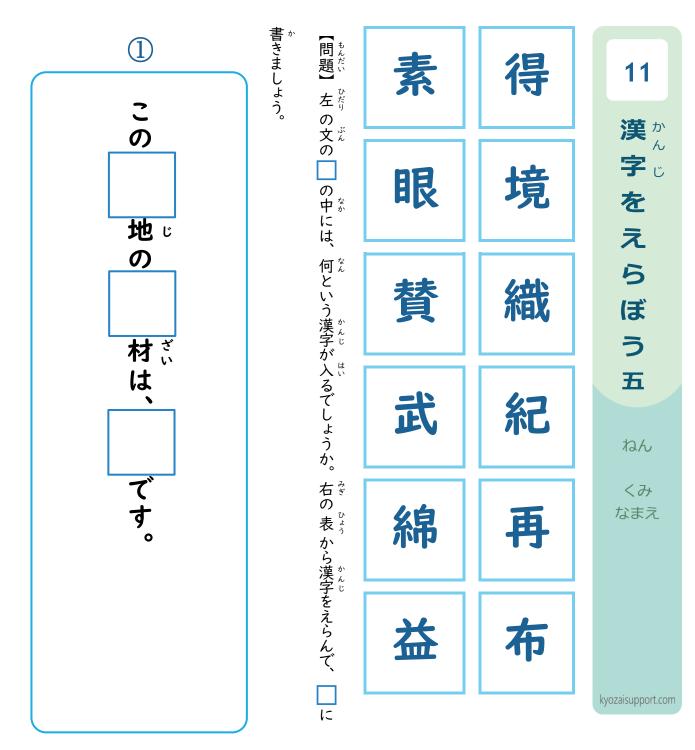
よって起こります。

識 制 14 液 禁 独 基 査 格 統 似

【問題】 左の文の一の中には、 何という漢字が入るでしょうか。 右の表から漢字をえらんで、 に

書きましょう。 1 丰 その周辺は、 ノコが生えているか しゅうへん **立**た ち人 **()** 調 IJ 止です。 中です。 をもつ

2 が わたしの性い はは 母にとてもよく は、 自分では意い ているそうです。 していません



2

かん

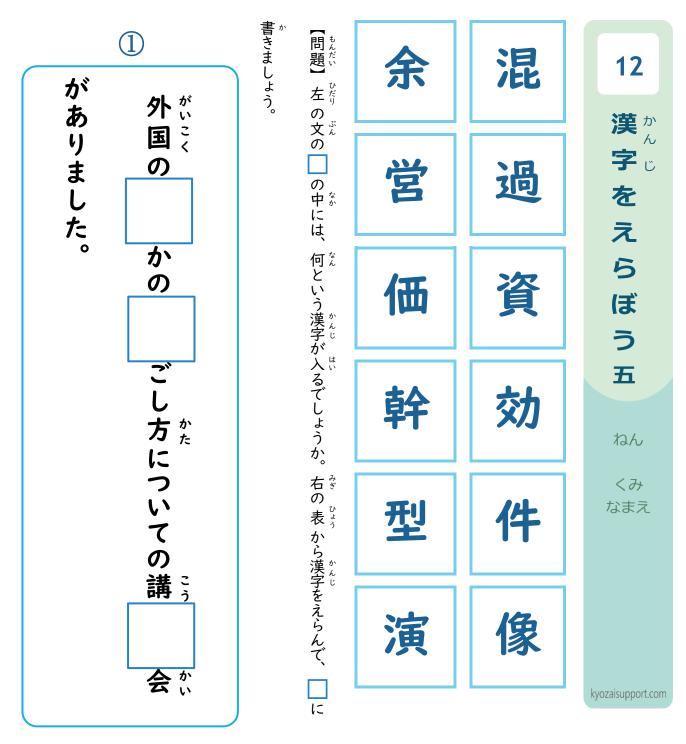
のことを考えて、製品をかんが、せいひん

利用する

ことに

成せい

します。



2

この

についての評

は、

有

【問題】 備 左の文の一の中には、 堂 象 何という漢字が入るでしょうか。 破 水 刊 技 右の表から漢字をえらんで、 枝 条 移 句 に

書きましょう。 1 これからは、 えを行ってから おこな 気き 予報をよく見て、完ぺきなょほう 動どう てください。

2 も思いませんでした。 この団体競 連れん できるとは、 に

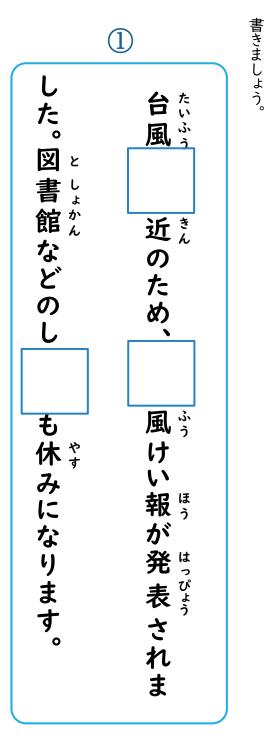


【問題】 左り の ジェルの 一 の中には、 何という漢字が入るでしょうか。 右の表から漢字をえらんで、 貧 に

書きましょう。 1 前がん 野菜を多く食べるように ゃ に さい おお べて 用が かります。 案されましたが、 以い

2 医ぃ 深か 師し い息をして、落ち着 かヾ はくを つ いた 状^{じょう} りました。 になったので、





2 をわたします。 帰れる りに事じ 室 に ってください。 明書